

地域おこし協力隊が行く!

2021.9
Vol.52

隊員インタビュー

東京五輪の結果を受けて、
GMOアスリーツパーク湯の丸の利用促進に
尽力した水間源隊員にインタビューしました!



水間 源 隊員
(スポーツツーリズム振興支援)
東京都出身。競泳の元日本記録保持者。2019年、航空業界から東御市へ。

小林 東京五輪で水泳日
本代表は大橋悠依
選手の2冠など、金メダル2
つ、銀メダル1つという結果
でした。この結果は?

水間 私が2019年に地
域おこし協力隊に着
任したときの目標が「東京五
輪で金メダル4つ獲得。その
為に多くの選手を湯の丸に誘
致する」でした。メダル数の
目標には届きませんでしたが、
当施設が大橋選手の2種目2
冠に貢献できたという点は嬉
しく思っています。

小林 インタビューの際、
水間さんが大橋選手
に気さくに話しかけているの
が印象的でした。

水間 大橋選手は、私の恩
師である平井伯昌代
表ヘッドコーチの門下生なん
です。厳しい練習など同じ苦
しみを共有しているからこそ、
選手の気持ちが変わりますし、

選手としても話しやすいのか
なと思います。もちろん選手
に話す前は、必ず担当コーチ
に許可を取っていますが、同
門ということもあり受け入れ
てくださったのは感謝ですね。



水間隊員撮影の貴重なオフショット。こうした時の
会話で選手の体調も気遣うと水間隊員。
(左: 難波実夢選手、右: 大橋悠依選手)

小林 湯の丸のプールには、
何人の代表選手が来
たんですか?

水間 最終的には水泳代
表選手(競泳+マラ
ソンスイミング) 35名のうち、
五輪選考会前の利用を合わせ
ると32名の利用がありました。
代表選手の9割以上が湯の丸
高原のプールを利用したこと
になります。

小林 代表選手の9割以
上の利用というのは
ものすごい数字だと思います

が、それまでのような苦勞
があったのでしょうか?

水間 着任の時点では水泳
関係者で、「とうみ」
という名前が読める人は、ほ
ぼゼロでした。選手や指導者
の方々に、地道にあいさつ回
りをするところから始め、水
泳の大会で東御市のPRブ
ースも出しました。地道なPR
で少しずつ認知が広まり、竣
工前には約6000泊の予約
が集まりました。今では新聞
記事などにも取り上げていた
だいて、一般の方にも「東御市」
の名前が広がっているのかな
と思います。

小林 今回の五輪は午前中
の決勝と、イレギュ
ラーな日程でしたが、それに
合わせた調整もしたそうです
ね。

水間 平井先生をはじめ水
泳連盟からの要望も
あり、普段は8時~9時頃に
プールや食堂をオープンする
ところを、6時台から練習や
食事ができるように前倒しし
ました。プールや食堂のスタッ
フは1~2時間前から準備を
するわけですから、相当大変
だったと思います。湯の丸高
原のスタッフや、東御市役所
そしてご理解いただいている

市民の皆さまのご協力がなけ
れば、ここまで来ることはあ
りませんでした。まさにみん
なで獲得したメダルだと思
います。

小林 今後の目標は何で
すか?

水間 今年の秋に指導者向
けのセミナーを湯の
丸で開催する予定です。専門
の講師を招いて、高地トレ
ニングの効果やリスクなどを
学びます。私の任期も残りわ
ずか(2022年1月)です
が、今後も日本水泳界の強化
の為に、継続的に湯の丸高原の
高地トレーニング施設が利用
されるように力を注いでいき
たいです。



代表選手のサイン色紙展示は水間隊員の企画で実現
しました。

編集担当・地域おこし協力隊 小林